

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 経営システム科学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題3, 4(経営システム科学分野)の中から1題は選択してください。
4. 会計学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題5, 6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
5. 試験問題についての質問は、受けつけません。
6. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください(氏名は記入しないでください)。受験番号や問題番号が記入されていないと、その解答用紙の成績が0点になる場合があります。
7. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になる場合があります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
8. 解答は、日本語で行ってください。
9. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1

リーダーシップ理論について以下の問いに答えなさい。

フィードラー (Fiedler, F.E.) のコンティンジェンシー理論およびハーシー&ブランチャード (Hersey, P. & Blanchard, K.H.) のSL (Situational Leadership) 理論の2つの理論についてそれぞれ説明したうえで、両者の共通する点と異なる点について論じなさい。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 2

異文化研究に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) 有名な異文化研究に“グローブ”(GLOBE: Global Leadership and Organizational Behavior Effectiveness)がある。研究チームは世界62カ国のマネージャーから収集したデータを用い、国家文化の違いに影響する9項目を明らかにした。9項目のうち「3項目」を選び、それぞれ定義しなさい。

(2) (1)で選んだ3項目について、それが「強い」国、と「弱い」国からの人材で構成される多国籍チームの成果にどのような「良い影響」をもたらすか、項目ごとにそれぞれ論じなさい。

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 3

2つの製品XとYに関する顧客満足度調査(100点満点)の結果、下表のような18個のデータを得た。製品Xの顧客満足度 X_i ($i = 1, 2, \dots, 9$) はすべて独立に $N(\mu_1, \sigma_1^2)$ にしたがう、製品Yの顧客満足度 Y_j ($j = 1, 2, \dots, 9$) はすべて独立に $N(\mu_2, \sigma_2^2)$ にしたがうものとする。以下の小問(1)と(2)に答えよ。なお、必要に応じて付表の数値を用いること。

表: 顧客満足度データ

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
X_i ($i = 1, 2, \dots, 9$)	84	76	88	92	95	96	78	94	89
Y_j ($j = 1, 2, \dots, 9$)	81	74	82	89	84	92	82	88	84

- (1) 上記データが、無作為抽出された18人の顧客に対して製品XもしくはYのいずれか1つについて回答してもらった顧客満足度調査の結果であるものとして以下の(a)から(c)に答えよ。
- 両製品の顧客満足度に関する平均値 $\bar{X}$, $\bar{Y}$ ならびに偏差平方和 S_X, S_Y を求めよ。
 - 両製品の顧客満足度の等分散性について、有意水準5%で検定せよ。
 - (b)の検定結果を踏まえ、両製品の顧客満足度に差はあると言えるか、有意水準5%で検定せよ。
- (2) 上記データが、無作為抽出された9人($i = j$)の顧客に対して製品XとYの2つについて回答してもらった顧客満足度調査の結果であるものとして以下の(a)と(b)に答えよ。
- $W_i = X_i - Y_i$ とするとき、 $E[W_i]$ と $V[W_i]$ を求め、 W_i はどのような分布にしたがうか答えよ。
 - 両製品の顧客満足度に差はあると言えるか、有意水準5%で検定せよ。

付表1: 自由度 n の t 分布における両側 $100\alpha\%$ 点

$n \backslash \alpha$	0.10	0.05	0.01
8	1.860	2.306	3.355
9	1.833	2.262	3.250
10	1.812	2.228	3.169
11	1.796	2.201	3.106
12	1.782	2.179	3.055
13	1.771	2.160	3.012
14	1.761	2.145	2.977
15	1.753	2.131	2.947
16	1.746	2.120	2.921
17	1.740	2.110	2.898
18	1.734	2.101	2.878

付表2: 自由度 n の χ^2 分布における上側 $100\alpha\%$ 点

$n \backslash \alpha$	0.975	0.950	0.050	0.025
6	1.24	1.64	12.59	14.45
7	1.69	2.17	14.07	16.01
8	2.18	2.73	15.51	17.53
9	2.70	3.33	16.92	19.02
10	3.25	3.94	18.31	20.48

付表3: 自由度 m および n の F 分布における上側5%点

$n \backslash m$	6	7	8	9	10
6	4.28	4.21	4.15	4.10	4.06
7	3.87	3.79	3.73	3.68	3.64
8	3.58	3.50	3.44	3.39	3.35
9	3.37	3.29	3.23	3.18	3.14
10	3.22	3.14	3.07	3.02	2.98

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

変数 x と y の相関係数に関する次の小問(1)から(5)に答えよ。

- (1) 共分散 S_{xy} と相関係数 r_{xy} を求める式を記述せよ。
- (2) 変数 x と y が独立であるなら相関係数 r_{xy} が0になることを示せ。
- (3) 相関係数 r_{xy} が0でないことは必ずしも変数 x と y の間の因果関係を意味しないことを「見せかけの相関」もしくは「疑似相関」という言葉を用いて説明せよ。
- (4) 相関係数 r_{xy} が0であっても x の値から y の値を特定できる事例を示せ。
- (5) $y = \beta_0 + \beta_1 x$ の単回帰分析の回帰係数 β_1 と、変数 x と y の間の相関係数 r_{xy} の相違を述べよ。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

次の(1)及び(2)について答えなさい。

- (1) 財務会計が果たす二つの役割である利害調整機能と情報提供機能について説明しなさい。
- (2) 会社法による会計と金融商品取引法による会計について、それぞれの主たる目的について説明しなさい。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

事業部制などの独立採算制を採用する企業において、社内振替取引を行うことがある。このような社内振替取引で使用する社内振替価格の設定基準を列举し、その基準が採用される状況を説明しなさい。

問題訂正 (国際社会科学府)

実施専攻名

経営学専攻

教科・科目名

経営システム

受験者に対して、試験開始前に問題訂正があることを口頭で伝え、
試験開始直後に、下枠の内容を板書により周知してください。

<問題訂正>

問題番号 4 (5)

(誤) $y = \beta_0 + \beta_1 x$ の単回帰分析…

(正) $y = \beta_0 + \beta_1 x + \varepsilon$ の単回帰分析…